

## 新しい公共の場づくりのためのモデル事業における震災対応案件（事例）

### 島根県

- モデル事業名：東日本大震災被災者支援事業
- 事業実施主体：出雲市総合ボランティアセンター運営委員会、島根県
- マルチステークホルダー：出雲市役所、島根県社会福祉協議会、東日本大震災いずも支援チーム（社団法人出雲青年会議所、日本防災士会島根県支部、ボランティア団体、NPO 法人、企業、個人等で構成）等 \*構成メンバーは調整中
- 事業内容：
  1. 被災者支援のための連携協働体制の構築、ミーティングの開催等
    - (1) 県内支援
      - ① 県内避難者支援
      - ② 被災者支援・災害ボランティア活動イベント支援
    - (2) 被災地支援（現地のニーズ把握、実情調査を行った上で実施）
      - ① 災害ボランティア活動支援
        - ・現地連絡所の設置
        - ・現地派遣に関する交通手段の提供
      - ② 避難所支援
  2. 被災者支援活動の情報収集と発信
    - ・現地調査（災害ボランティア派遣先の選定など環境整備）
  3. 東日本大震災しまね支援連絡会の開催
    - (1) 情報交換と連携
    - (2) 島根県のボランティア・NPO 等の県内外災害時支援活動について検討
- 事業期間：2011年5月～2013年3月
- 事業費：1,000万円